



10月号

認定NPO法人
英田上山棚田団



今月の
上山豆知識

カメの見分け方
大芦池から来るのか、時々亀をみますね。日本には主に3種類の亀がいます。ミンシツピアカミミガメは目の後ろの赤い線が特徴で、お腹も黄色いので見分けやすいですね。こどもは〇〇〇〇〇と呼ばれて売られています。クサガメは甲羅に3本のつばりが特徴です。日本固有種のイシガメは絶滅危惧種で甲羅に1本のつばりがあります。(答えは裏面に)

2019年度の上山の稲刈りが完了!

右のタイトルの通りでございます。稲刈りが完了いたしました。上山内には、まだ少しだけ刈り取りを待つ稲がありますが、NPO法人英田上山棚田団で管理している棚田に関しては稲刈りが終わりました。例年だと10月中旬は怒涛の酒米稲刈り真っ只中ですが、今年酒米の作付けを減らし、うるち米を2種類作付けしたことで、収穫作業を例年より早く行うことができました。ホツとしていきます。

6月に田植えをしてからは、稲作農家にとっては田んぼのことを気に掛ける日々が続いてきました。「家のカギ閉め忘れたかな?」「ガスの元栓閉めたかな?」「テスト用紙に名前書いたかな?」「そんなことと同様に外出中や悪天候の日は「田んぼ大丈夫かな?」と心配になる日々。夏の暑さには死にそうになりながらも草を刈り、草を抜いてきました。獣害に加え、強烈な台風がやってくる昨今、9月に入って収穫を目前にしてのソワソワ感といったらもうなんと形容すべきか。それらの日々を越えて稲刈りが無事に完了した日に

は、それはそれは皆さんホツとしていないことではないでしょうか。もみ摺り(もみ殻を取り玄米にする工程)が終わり新米を食べた時の喜びはひとしおです。さて、稲刈りが終わったら終わったで次の動きへ。冬は各地でイベントを企画したり、出展したり、山林での作業も待っています。また、来年の田んぼに向けて農地や機械の整備をしておくことも重要です。農閑期は農閑期なりの動きにシフトし、来年に向けて種をまく活動をしていきます。

八伏棚田の
ハゼ干しの景色は圧巻!



秋祭りの準備と獅子舞練習

10月に入り、宮総代が集まって秋祭りの準備をしています。折り紙を折って切つての花づくり、そして、しめ縄づくりです。秋祭りといえば獅子舞があり、有志で晩に公会堂に集まって獅子舞と笛の練習もしています。獅子舞は今年で復活から9年目となりました。今年の参加は難しくても、また来年以降、笛や太鼓、はたまた獅子の躍り手としての参加も大歓迎です。



岡山県神社庁美作支部から
「感謝状」をいただきました!

人口減少に伴う氏子の減少は、どの地域の神社でも抱えている課題です。そんな昨今においても上山神社は地元住民と移住者が協力して秋祭りの獅子舞の復活などの取り組みをしてきました。この度、岡山県神社庁の美作支部総会において取り組みが称えられ、感謝状をいただくこととなりました。引き続き上山神社を守っていきましょ。



